

## 第5回目

2012年7月20日(金曜日)  
18:00～19:00

元安橋東詰からスタートし本通り、金座街を往復します。毎週金曜か土曜の夕方に歩きます。

飛び入り歓迎  
槍が降ったら中止します

# 広島2人デモ

雨天  
決行

いてもたってもいられなくなった仕事仲間と恥も外聞も捨てて仕事の合間にたった**2人でも歩く**。それが2人デモです。黙っていたら社会人としてだけではなく、企業人としても恥。

野田首相！あなたは恥を知るノダ！



調査・文責：哲野イサク  
チラシ作成：網野沙羅  
URL：<http://www.inaco.co.jp/isaac/>  
連絡先：sarah@inaco.co.jp

## 地震の巣の上の 大飯原発

7月17日原子力保安院で開かれた専門家による「地震・津波に関する意見聴取会」で北陸電力志賀原発と共に大飯原発敷地内に活断層があることが指摘されました。

何をいまさらという感じもありますが、聴取会に提出された資料を見ると、今回再稼働した3号機、4号機(18日21時再起動)は、かつて断層がずれたことを示す**断層破碎帯の真上に乗っていることが判ります**。3号機・4号機は地震の巣の上に乗っているのです。(大手マスコミはこの資料を報じていません)

保安院はただちに閉電に再調査を命じましたが、保安院は「ただちに危険はない」として大飯原発の稼働中止は求めません。何かがおかしくて何か狂っています。(裏面参照のこと)

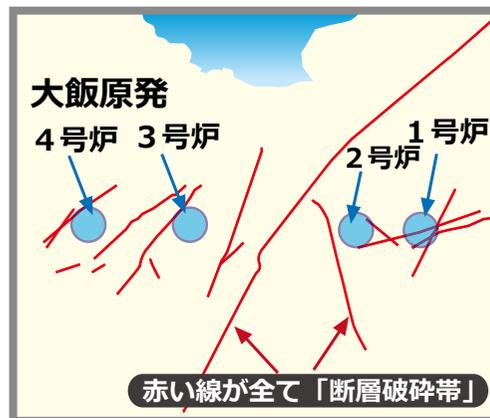
## 「福島原発事故は終わっていない」

(国会事故調報告－2012年7月5日)

### 閉電

# 今からでも遅くない 大飯原発を止めましょう 苛酷事故の前に

## 黙っていたら“YES”と同じ



出典：原子力安全・保安院「地震・津波に関する意見聴取会」第19回平成24年7月17日配布資料「地震・津波19-4」P7「大飯発電所地質水平断面図(EL+3m)」図をトレース処理  
<http://www.nisa.meti.go.jp/shingikai/800/26/019/240717.html>

## 反原発緊急国民政府の樹立を！

福島原発事故収束に全力をあげず、数字の詐術を使って「電力不足」で威嚇しながら、危険極まりない大飯原発の再稼働を強行し、私たちの「生活」と「健康」を、原子力産業の利益と引き替えにする民主党政権にはほとんど愛想が尽きました。といって自民・公明政権にも戻れません。彼らこそ原発政策を進めてきた張本人だからです。もうこうなれば何党でも構わない、反原発を掲げる人たちが国会を制して「反原発緊急国民政府」をつくる時ではないでしょうか？

## 「電力不足」-政府・閉電の 数字の詐術

7月に入って「節電期間」が始まりました。それと同時に関西電力も毎日の「ピーク時供給電力実績」、「ピーク時使用電力実績」、「火力・水力・揚水発電電力ピーク時実績」、「他社受電実績」などキーになる数字を毎日公表せざるを得なくなりました。

そうした数字を分析してみると、これまで「原発なしでは閉電管内で15%電力が不足する」という宣伝が全くの詐術であることがわかります。

閉電はピーク時、**原発なしで3111万kW**の供給能力をもっています。また今夏ピーク時最大使用電力はどんなに多く見ても**2900万kW**であることも明らかになりつつあります。この詐術に関西広域連合、大手マスコミも重要な役割を演じました。(裏面参照のこと)

## 「電力不足」－政府・関電の数字の詐術

まず判ったことの一つは政府・関電の主張する「今夏最大ピーク時使用電力3015万kW」はあまりに過大だということです。ピーク時使用電力がはじめて2500万kWを越えたのは、猛暑日の7月17日になってからです。次に判ったことは供給電力の極端な過小評価です。関西広域連合は揚水発電の最大供給量は239万kWとしました。ところが実際には下表で判るように揚水は100%以上のフル操業をしています。次に関電は他社受電を約600万kWも受けています。しかも中部・中国・北陸の各電力会社からの融通電力は15%に過ぎません。関電管内には他に膨大な発電能力があったのです。「原発なしでは15%不足する」は大うそでした。

### 関西電力 ピーク時電力供給量と内訳 (6月30日から7月17日)

ピーク時最大電力供給能力 (原発除く: 推計) **3,111万 Kw**

(原発を除く認可最大発電設備能力+他社受電600万kW)

単位はすべて万kW

2012年		認可最大発電設備能力			火力発電		水力発電		揚水発電		原子力	他社受電 (内融通)		他社受電のうち、他電力会社からはたったこれだけ			
日付	曜日	ピーク時供給実績	ピーク時使用実績	ピーク時刻	ピーク時	ピーク時率	ピーク時	ピーク時率	ピーク時	ピーク時率	一定出力	ピーク時	ピーク時率	融通電計	中部	北陸	中国
7月17日	火	2,831	2,540	16:00	1,380	81.6%	285	75.4%	432	97.7%	118	615	10.1%	62	36	14	12
7月16日	月	2,687	2,160	19:00	1,240	73.3%	278	73.5%	448	101.4%	118	604	20.7%	125	58	18	49
7月15日	日	2,514	2,016	19:00	1,140	67.4%	279	73.8%	448	101.4%	118	530	20.9%	111	58	18	35
7月14日	土	2,577	2,015	14:00	1,163	68.8%	281	74.3%	448	101.4%	118	567	21.7%	123	40	18	65
7月13日	金	2,645	2,301	14:00	1,236	73.1%	269	71.2%	405	91.6%	118	616	10.6%	65	36	4	25
7月12日	木	2,569	2,234	11:00	1,260	74.5%	262	69.3%	351	79.4%	118	578	11.2%	65	36	4	25
7月11日	水	2,520	2,180	16:00	1,200	71.0%	271	71.7%	342	77.4%	118	588	11.9%	70	41	4	25
7月10日	火	2,441	2,208	16:00	1,125	66.5%	266	70.4%	332	75.1%	118	600	10.8%	65	36	4	25
7月9日	月	2,363	2,114	14:00	1,043	61.7%	270	71.4%	341	77.1%	118	591	11.0%	65	36	4	25
7月8日	日	2,170	1,704	19:00	766	45.3%	259	68.5%	432	97.7%	118	594	19.5%	116	58	23	35
7月7日	土	2,193	1,812	11:00	969	57.3%	246	65.1%	245	55.4%	89	645	19.8%	128	40	23	65
7月6日	金	2,357	2,055	16:00	1,125	66.5%	265	70.1%	316	71.5%	59	592	14.4%	85	41	4	40
7月5日	木	2,352	2,055	11:00	1,125	66.5%	267	70.6%	335	75.8%	35	590	13.6%	80	36	4	40
7月4日	水	2,495	2,077	13:00	1,245	73.6%	264	69.8%	361	81.7%	0	625	12.8%	80	36	4	40
7月3日	火	2,445	2,040	11:00	1,185	70.1%	264	69.8%	387	87.6%	0	610	13.9%	85	41	4	40
7月2日	月	2,470	2,098	16:00	1,268	75.0%	255	67.5%	334	75.6%	0	613	13.1%	80	36	4	40
7月1日	日	2,399	1,768	19:00	1,137	67.2%	236	62.4%	448	101.4%	0	579	19.9%	115	58	22	35
6月30日	土	2,377	1,830	11:00	1,236	73.1%	217	57.4%	397	89.8%	0	525	9.0%	47	25	2	20
ピーク時平均		2,467	2,067		1,158	68.5%	263	69.6%	378	85.5%		592	14.7%				

1. 関西電力の「原発」と「新エネルギー」を除くピーク時最大発電能力は、火力、水力、揚水合計2511万kW。(認可発電設備ベース)
2. 他社受電は、IPP(独立発電事業者)、自家発電設備などからの余剰電力及び他電力会社からの融通電力の3種類。
3. 他社受電は、ピーク時約600万kWのうち融通電力は平均約15%だった。従って他社受電能力はピーク時約600万kWとできる。(実績ベース)
4. 従って関西電力のピーク時最大電力供給能力は、原発を除く自社発電能力2511万kWに他社受電600万kWを加え、3111万kWと推計できる。
5. 資料出典は関西電力ホームページ「でんき予報」の「過去の使用電力実績ダウンロード」及び「関西電力有価証券報告書 平成23年」

## 地震の巣の上の大飯原発

原子力保安院はなぜ専門家チームを独自に作って自ら調査せずに、関西電力に再調査を命ずるのでしょうか？これでは**犯人に事件の証拠を自ら準備して持ってこい**、というと同じではないでしょうか？関西電力が自らこれは危険な活断層です、という報告をもって来るはずがありません。**フル稼働している3号機、再起動したばかりの4号機**。明日地震がないと誰が保証できますか？危険の可能性がある時、安全が確認できるまで稼働を止める、これは安全管理の大原則です。詐術の「電力不足」キャンペーンの威し、安全が確認されないままの原発再稼働、なにがなんでも**電気事業者・原子力産業の利益を護ろうとする野田政権、これは国家犯罪**といっても過言ではありません。